



なごみ
日和 vol.24

和水町の活躍している
人を紹介しています

星子 澄代さん
(星の子会代表)

身体に優しい健康布ぞうり作り

和水町で布ぞうり作りに取り組む「星の子会」の代表、星子澄代さん。星の子会では紡績工場から出る綿の端切れを再利用して布ぞうりを手作りしています。作った布ぞうりは小学校の入学祝いや敬老会の記念品として寄付するほか緑彩館などで販売しています。赤ちゃんの誕生・成長を祝う誕生ぞうりや交通安全を祈るミニぞうりなども作ります。現在は約20名の会員で中央公民館に定期的に集まり活動しています。

星子さんの活動は母校である旧菊水西小学校の新一年生に布草履を贈ったことが始まりでした。最初の頃は着られなくなったTシャツなどを再利用して布草履を作っていたそうです。2011年に星の子会を10名で立ち上げ、同年、熊本県で開催された「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」に出展しました。今年で会の発足から10年の節目を迎えます。

布草履はスリッパのように屋内履きとして使いますが、スリッパよりも開放感があり蒸れにくい、丸洗いができる、動きやすいといったメリットがあります。また、足指が鍛えられるため扁平足や外反母趾を予防する効果もあるそうです。星の子会の布草履は丈夫で、中には4年以上使っている人もいます。

「これまで活動を続けられたことがありがたい」と語る星子さん。布ぞうり作りを通して物を大切に作る心を伝えたいという思いがあり、興味があればマンツーマンで作り方を教わることもできるそうですよ。星の子会の布ぞうりを見かけた際はぜひ手にとってみてください。



協力隊活動記 Vol.43

こんにちは。地域おこし協力隊の水上和磨です。和水町の移住定住センターが菊水ロマン館にオープン予定です。センターは移住に関する相談窓口として、和水町で暮らしたい・働きたい人に向けて、住まいや仕事、暮らしの情報をご案内します。移住や引越しを検討している人はもちろん、誰でも立ち寄って休憩したり、Wi-Fiを使って作業できるスペースになります。ロマン館にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。